

ミュージカル

# 本田宗一郎物語 大阪公演

## 小中学生を含む地域の方々など約800人が参加!

8月29日、ホンダテクニカルカレッジ関西は、NPO法人本田宗一郎夢未来創造倶楽部、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会が主催するミュージカル「本田宗一郎物語」の大阪公演に協力しました。



受付に並び地域の方々。小中学生も多数参加した

生誕100年記念事業として地元浜松市天竜で上演し、好評だったため、大分、埼玉に続き大阪での公演が実現しました。好奇心の強かった本田宗一郎の少年時代の数あるエピソードを基に、両親と離れ東京へ旅立つまでを、本田宗一郎のふるさとである天竜の子どもたちが演じています。

公演当日は、小中学生を含む地域の方々など約800人が観覧し、本田宗一郎の生涯にわたる「ものづくりの精神」や、人を引き付けてやまない「人となり」の原点となった少年時代を描いたミュージカルを通して、常に夢を描くことの素晴らしさ、ものづくりの大切さ、「やまいか魂」に感動していました。



本田宗一郎が車と出会う感動のシーン



本田宗一郎の少年時代を天竜の子どもたちが熱演



天竜川の美しい流れを表現した「龍水の舞い」

## "コカ・コーラ ゼロ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝レース170LAP、21位完走!

7月23日(木)~26日(日)、二輪整備同好会は単独参戦3年目の今年も「真夏の祭典」QTEL FIM世界耐久選手権シリーズ第4戦「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8時間耐久ロードレースに出場しました。

決勝レース当日は、断続的に降る激しい雨のため、目標にしていた200LAPには及びませんでしたが、昨年の42位を大幅に上回る21位で完走することが出来ました。また、チームワークの向上や時間管理の徹底

など、学生が自ら立てた目標を全員で意識クリア出来たことも今年の大きな成果です。

今回メカニックとして鈴鹿8耐に参戦した学生たちは、活動を通して「技術のレベルアップ」のみならず「チャレンジングスピリット」を肌で感じ「チームワークの大切さ」を身につけ、モータースポーツの奥深さや醍醐味、達成感を充分に感じてくれたと思います。(文/二輪整備同好会顧問 白上貴紀)



### ライダー紹介



**第1ライダー 古澤 基樹 (フルサワ モトキ)**  
●鈴鹿8耐の戦歴  
2006年 総合49位  
2007年 総合30位  
2008年 決勝リタイア(予選28位 2'13'952)



**第2ライダー 浜口 喜博 (ハマグチ ヨシヒロ)**  
●鈴鹿8耐の戦歴  
2006年 決勝総合20位  
2007年 DNQ  
2008年 決勝総合44位

ライダーには地元三重県出身で鈴鹿8耐でも実績の豊富な古澤基樹選手、浜口喜博選手を起用しました

### INTERVIEW 学生インタビュー



二輪整備同好会リーダー ガス担当 **田中 歩** くん  
目標の200ラップには届きませんでしたが、順位は21位と昨年の42位から大幅にランクアップできました。今年は

チームを変えようとして苦勞もたくさんありましたが、振り返ってみればとてもやりがいのある仕事ができたと満足しています。応援してくださったみなさん、ありがとうございました!

### ●学生レポート / オフロード同好会 西田佳太くん

## 2位、3位獲得!キャンオフ大会

10月4日(日)オフロード同好会は、京都チキンランドで開催された「レオタニモト・キャンバスオフロード西日本大会第二戦」に参戦しました。



表彰台の常連、オフロード同好会

レースの結果はクラス6位で、あともう少し走っていたら3位を狙えたので悔しかったです。これからの課題としてはもっとバイクとオフロードに慣れること、コーナーをスムーズに曲がれるように練習が必要だと感じました。

同好会全体の結果はフレッシュマンクラスで橋本、山口ペアが2位、福井、小西ペアが3位。チャレンジクラスで佐々木くんが3位に入りトロフィーを3つ獲得しました。今後は自分もトロフィーを獲得できるように頑張りたいです。

### ●サイクルスポーツ同好会

## シマノ鈴鹿ロードレースに参戦!

8月29日~30日、サイクルスポーツ同好会の4名は全国から一万人以上が集まる国内最大級のサイクルスポーツイベント「シマノ鈴鹿ロードレース」に参加しました。



フレッシュな1年生、全員で来年再チャレンジ

参加者は全員1年生で、水間くん以外はレース初体験の初心者です。大会前週に行った琵琶湖一周(150km)の走りこみの成果が試されるレースとなりました。

結果は、開発科1年生の水間君がオープンIクラスで6位入賞。開発科1年生の増谷君がインターメディアイトクラスで5位入賞を果たしました。

2日間で合計13種目に参加し、好成績を修めた者も、そうでない者も来年の再チャレンジを心に決めました。

### ●学生レポート / ソフトボール同好会 主将 至田義信くん

## 3位入賞!大阪狭山市秋季大会

9月27日(日)、ソフトボール同好会(チームホンダレッズ)は「大阪狭山市秋季ソフトボール大会決勝トーナメント」でヤンキースと対戦しました。この試合はこれまで東和苑、サントスなどの強豪チームと対戦し、予選を勝ち抜いたホンダレッズの準決勝戦です。



11月の会長杯で優勝を狙うホンダレッズ

先行のホンダレッズは初回から4点を先制、2回には山本君の今大会2回目のホームランも飛び出し試合を優位に進めました。しかし、2点差で迎えた最終回、守備の乱れが重なり3点を奪われ7対8でサヨナラ負けとなりました。

準決勝で負けたのは悔しいですが3位入賞することができました。今後はピッチャーと守備力に課題が見つかったので、11月15日に行われる会長杯までに修正して挑みたいですね。

### ●学生レポート / エコラン同好会 会長 杉島彰くん

## NEX号31位! Hondaエコノパワー全国大会

私たちエコラン同好会は、10月10日、11日にツインリンクもてぎで開催された「第29回 本田宗一郎杯 Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」に3台体制で出場しました。



エコラン同好会のメンバー

結果は、NEX号が543.936km/ℓでクラス第31位、トライヤー号が522.728km/ℓでクラス第32位、ラティード号はタイムオーバーという結果でした。

もう少し部員一人一人が、担当車両について知っておけば結果は良かったのではないかと思います。今後の活動としては今回の結果を受け止め、来年のレースで良い結果が出せるよう問題点を洗い出し改善していきます。

### ボランティア41名参加



今大会の運営スタッフとして、41名の学生がボランティアで参加しました。現地では他のスタッフと一緒にガソリンの計測や式典の手伝い、レースの安全管理などそれぞれの役割で運営をサポートしました。

### 新任の挨拶



さやま寮舎監 **池田 謙二**

8月よりさやま寮舎監としてお世話になります池田です。

何分にも舎監という仕事は初めてですが、前さやま寮舎監の徳万さんの指導を仰ぎながら精一杯頑張りたいと思います。

また35年間の社会人経験を活かし、寮生に規則を守る大切さを教え、協調性を高めるよう指導し、共に寮生活を楽しく過ごせるように努力していきます。

### 退任の挨拶



自動車整備科 **川井 民二**

ホンダ学園で17年間お世話になりました。8月26日をもって退職することになりました。

皆さんと楽しく過ごすことができ感謝しています。学生の皆さん、ホンダ学園の次は社会人です。ソフト面での対応も重要ですが、ハード面の整備ができるように実習で技術を身につけ、即戦力に繋がるように頑張ってください。



企画課 **萬野 俊一**

9月30日をもって退職することになりました。Hondaで働く中の約10年間をホンダ学園で勤務できたことは大変幸福だったと思っています。

Hondaの運営方針の一つに「常に夢と若さを保つこと」があります。私がこれを実践できたのは在校生、卒業生の皆さんから若さをいただけたおかげだと思っています。ありがとうございました。